

第 13 回全日本フットサル選手権鹿児島県大会 実施要項

1. 名 称 第 13 回全日本フットサル選手権鹿児島県大会
2. 主 催 社団法人鹿児島県サッカー協会フットサル委員会
3. 主 管 鹿児島県フットサル連盟
4. 特別協賛 未定
5. 協 力 モルテン（予定）
6. 期 日 2007 年 10 月 21 日（日）～10 月 28 日（日）
7. 会 場 鹿児島アリーナ、鹿児島県体育館
8. 参加資格 ①2007 年度財団法人日本サッカー協会のフットサル個人登録およびフットサル大会登録を行った 16 歳以上（ただし、高等学校在学中の選手にはこの年齢制限を適用しない。）の選手により構成されたチームであること。
②第 1 項のチームに登録された選手であること。
③第 1 項に定めるチームには、1 チームあたり 4 名までの外国籍選手の登録を認める。ただし、当該外国籍選手は、IFTC(国際フットサル移籍証明書)により移籍が完了し、出入国管理および難民認定法に定める在留資格を取得しているものとする。なお、外国籍選手はピッチ上に 2 名を超えて同時にプレーをすることはできない。
9. 参加チームとその数
参加チームは、次の各号により選出された 24 チームとする。
 - (1) 予選大会優勝 2 チーム
 - (2) 九州リーグ 2 チーム
 - (3) プレミアリーグ 11 チーム
 - (4) 鹿児島地区 1 部リーグ上位 3 チーム
 - (5) NO.1 決定戦推薦チーム 6
鹿児島地域（2）、大口伊佐（1）、出水（1）、大崎（1）、霧島（1）
10. 競技形式 トーナメント戦とする。
11. 競技会規定 大会実施年度の財団法人日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。
 - ①ピッチサイズ：原則として 40m×20m
 - ②使用球：フットサル用ボール
 - ③競技者の数
 - (1) 交代要員の数：7 名以内
 - (2) ベンチに入ることができる人数：11 名以内（交代要員 7 名以内、

役員 4 名以内)

④競技者の用具

(1) シューズ：靴底は接地面が飴色もしくは白色のフットサル用シューズのみ使用可能とする。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

(2) すね当て：着用のこと

⑤試合時間

1 回戦・2 回戦：30 分プレイングタイム（ハーフタイム 5 分）

反則の累積 4、決着つかない場合 PK 戦

準々決勝・準決勝：40 分プレイングタイム（ハーフタイム 10 分）

反則の累積 5、決着つかない場合、延長戦 6 分、PK 戦

決勝：40 分プレイングタイム（ハーフタイム 10 分）

反則の累積 5、決着つかない場合、延長戦 10 分、再延長 6 分、PK 戦

* 延長戦、再延長に入る前のインターバル：5 分間

* PK 方式に入る前のインターバル：1 分間

⑥本大会期間中に警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。

⑦本大会において退場を命じられた選手は、次の 1 試合に出場できずそれ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。

12. 参加申込

①大会登録票に記載しうる人員は、1 チーム当たり 26 名（選手 20 名、役員 6 名）を上限とする。

②参加チームは、所定の登録票に必要事項を記入のうえ、監督会議（平成 19 年 10 月 8 日（月））に提出する。

13. ユニフォーム

①ユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）は正のほかに副として正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること（フィールドプレイヤー、ゴールキーパーとも）。

②チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない。

③シャツの**前面、背面**に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。

④選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。必ず本大会参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

⑤ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以降の変更は認めない。

⑥ユニフォームへの広告表示については、本協会「ユニフォーム規程」

に基づき承認された場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム
広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チーム
にて負担することとする。

⑦その他の事項については本協会「ユニフォーム規程」に則る。

- 14. 参 加 料 30,000 円
- 15. 表 彰 優勝、準優勝に賞状を授与する。
- 16. 組 合 せ 2007 年 10 月 8 日（月祝） 監督会議に於いて抽選を行い、決定する。
- 17. 監督会議 2007 年 10 月 8 日（月祝）14:00 より、鴨池公民館会議室（2F）にて実施する。
- 18. 傷害補償 チームの責任において傷害保険に加入すること。
- 19. そ の 他
 - ①各チームの登録選手は、財団法人日本サッカー協会発行のフットサル選手証（写真を貼付したもの）を試合会場に持参すること。不携帯の場合は当該試合への出場を認めない。
 - ②各試合の 60 分前に両チームの代表者、審判員とのマッチコーディネーションミーティングを行う。
 - ③大会期間中の事故、怪我等に関して主催者側は一切の責任を負わない。
 - ④大会期間中の備品破損等、チームで弁償するものとする。
 - ⑤スポーツ保険等に参加すること。（主催者側で確認は行わないが、必ず加入し参加すること。）
 - ⑥試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 またはその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。
 - ⑦全日本フットサル選手権鹿児島県予選大会で退場処分（警告の累積による次試合出場停止も含む）を受けた選手、市内 N0.1 大会で退場処分（警告の累積による次試合出場停止も含む）を受けた選手で、次試合以降の出場停止が解除されていない場合は、本県決勝大会に持ち越すこととする。
事前のリーグ戦での退場等処分により、次試合以降の出場停止処分となった選手は、規律委員会で別大会に係る処分がない限り本県決勝大会に出場することができる。
ただし、事前のリーグ戦等での退場等処分により、規律委員会で別大会に係る処分がある場合、その決定に従うものとする。
なお、その他の処分については、監督会議で判断する。

第 13 回全日本フットサル選手権鹿児島県決勝大会 事前伝達事項

大会登録票及び役員届出票

- ①大会登録票は、帯同審判欄を除き、記入漏れがないように提出しなければならない。監督会議以降の変更は認めない。
- ②監督会議の大会登録票提出時に個人番号の決定していない選手は出場できない。
- ③役員届出票の監督会議提出以降の変更は認めない。

ユニフォーム等

***ユニフォーム規定を守らない場合、出場できない。**

- ① 正・副用意する。(正と副の組み合わせが全て異なっていること)
- ② 審判と類似するユニフォームは認めない(上着が、黒、紺等)
- ③ ユニフォームチェックは、60 分前に指定された場所で行う。必ず、F P 正副、G K 正副計 4 着、個人選手証を持参する。
- ④ シューズは規定どおりのものとする。レガース着用。めがねの装着禁止。
- ⑤ 正副の番号は同一のものでなければならない。**(前面・背面に番号が必要)**

選手証

- ① 選手証を持参していない選手は出場できない。仮選手証は認めない。
- ② 選手証には写真を添付していなければ出場できない。

登録人数

- ①大会登録票に記載しうる選手は、1 チーム当たり 20 名を上限とする。(但し、市内 NO. 1 決定戦により出場権を獲得したチームは下記のとおりとする)
- ②役員届出票に記載しうる役員は、1 チーム当たり 6 名を上限とする。

<市内 NO. 1 決定戦において出場権を獲得したチームに対する注意事項>

市内 NO. 1 決定戦において出場権を獲得したチームは、「市内 NO. 1 決定戦大会要項」及び「市内 NO. 1 決定戦大会登録票(写)」を本大会登録票に添付し監督会議の際に提出する。

- * 「市内 NO. 1 決定戦大会登録票」と「全日本フットサル選手権」の登録選手は同一でなければならない。
- * 「市内 NO. 1 決定戦大会要項」において 20 名未満の登録制限としている場合、20 名を上限に 3 名までの追加登録を認める。ただし、全日本フットサル選手権大会県予選、市内 NO. 1 決定戦に出場した選手、九州リーグ選手、プレミア選手、鹿児島地区 1 部リーグから出場権を得たチーム選手等からは追加できない。

(例 1)

市内 NO. 1 決定戦大会要項「・・・12 名までの登録とする。」としている場合、3 名追加の 15 名までの登録が可能。

(例 2)

市内 NO. 1 決定戦大会要項「・・・18 名までの登録とする。」としている場合、2 名追加の 20 名まで登録が可能。

<九州リーグ、プレミアリーグ及び鹿児島地区 1 部リーグチームに対する注意事項>

- ①該当チームは、「リーグ大会登録票(写)」を本決勝大会登録票に添付し、監督会議の際に提出する。10 月 8 日監督会議までにリーグチーム登録選手として承認された選手に限る。

<G-KLANG についての注意事項>

- ①全日本選手権県予選に出場したチームであるため、1 部リーグから出場権を獲得した場合も、全日本選手権予選に提出した登録メンバーでの出場となる。(追加・変更は認めない)監督会議には、予選大会に提出した大会登録票(写)及びリーグ登録票の(写)を提出する。

<全日本大会予選からの出場 2 チームについての注意事項>

- ①予選大会に提出した登録票のとおりとする。登録票を提出する必要はないが、役員届出票等は監督会議に提出する。

役員

- ①登録した役員がベンチに入る場合、役員として相応しい服装でなければならない。

平成 19 年 9 月 17 日

全日本フットサル選手権鹿児島県決勝大会
出場チーム代表者 殿

社団法人鹿児島県サッカー協会 フットサル委員会
委員長 吉村大作

第 13 回全日本フットサル選手権鹿児島県決勝大会監督会議の開催について(通知)

このことについて、下記のとおり通知します。

当日は、各チーム 2 名以内の出席方よろしくお願い申し上げます。

なお、監督会議に、遅刻、欠席したチームは如何なる理由であっても棄権とし、また、当日徴収の参加費 30,000 円を納入しないチームも棄権とします。

関係書類は、監督会議の際にチェックをし回収しますが、不備がある場合は、その場で判断し記入し提出していただきます。

記

開催日:平成 19 年 10 月 8 日(月祝)13:30 受付、14:00 開始

場 所: 鴨池公民館会議室(2F) -鹿児島市-

議 題:

1. 大会運営方法の確認
2. 組み合わせ抽選会
3. その他
 - ①提出書類の回収
 - ②参加費 30,000 円の受付
(Muvoo、TFC は大会登録料支払い済みのため 25,000 円)

(配付資料)

- ① 大会要項 ②大会登録票 ③役員届出票
- ④監督会議事前注意事項 ⑤ユニフォーム規定

* 監督会議で提出する書類を「監督会議事前注意事項」で確認のこと。

PUMA CUP 2008 第13回全日本フットサル選手権大会 役員届出票

チーム

代表者

監督

平成19年10月21日から28日までの役員について、下記6名を届け出ます。

	氏名	生年月日
1		
2		
3		
4		
5		
6		

* 各試合4名までベンチ入りできます。